

出前授業 その3 4年生社会「きょう土を開く」

授業時間の目安・・・45分

出前授業実施事例・・・（45分の場合）

学校側のねらいは？

- ・体験的な活動を通し、工事は人の手で行われていたことを知り、苦労や協力、思いを想起することができる。

郷土館の手立て

- ・パワーポイントで資料を提示し、視覚的にわかりやすく説明する。
- ・実物の提示や実演を行いどのような道具なのかを解説する。
- ・名前や使い方を理解した上で、その使い勝手や工夫を確かめさせるために体験の時間をもうける。

本時の学習活動

教師の働きかけと児童の活動	郷土館職員の動きと留意点
1. 郷土館職員の紹介（5分） 2. めあての確認	・自己紹介と活動の確認
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 三本木原台地を切り開いた当時の人々の苦労や工夫を知ろう。 </div>	
3. 三本木原台地の開拓についての説明を聞く。（10分） 4. 資料解説と観察（15分） 昔の工事に使われたと思われる道具についての解説を聞く。 【土を起こす道具】 「四本鍬」「唐鍬」「鋤」「踏み鋤」 【岩や土を運ぶ道具】 「モッコ」「ショイモッコ」 【衣服】 「さしこ仕事着」「かさ」「わらぐつ」 【明かり】 「燭台」「鈎燭」「手燭」「テド」	・三本木原を開拓するために、新渡戸伝が2つのトンネルを掘って用水をした話を紹介する。 ・パワーポイントを使って、視覚的にわかりやすくする。 ・館職員は資料解説。 ・道具の名前や使い方、工夫を解説する。 ・重さや手触りを確かめさせる。
4. 体験活動と質問（10分） <ul style="list-style-type: none"> ・ショイモッコを担いでみる。 ・モッコをみんなで持ってみる。 5. 学習のまとめと感想発表（5分） 3. 実際の資料を見たり触ったりして、どのような生活をしてきたのか考えよう。	・資料を大切に扱うことを約束させる。 ・体験の補助をする。 ・児童からの質問に答える。

※ここでは、三本木原台地の開拓についての実施案について載せていますが、地域・題材に応じた指導を行うこともできます。ご相談ください。